

# 第2期データヘルス計画

## 中間評価

### 報告書

令和3年3月

青木村

1.はじめに	P1
2.中間評価の方法	P1
3.第2期データヘルス計画における目標・課題及び評価	P2
4.今後の予定と最終評価について	P2
5.参考資料	P3

## 1. はじめに

「保健事業の実施等に関する指針」に基づき、PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、保健事業の実施計画期間6年間の第2期データヘルス計画を平成30年に策定した。策定後3年目となる令和2年度に、最終年度（令和5年度）に向け計画全体及び個別保健事業の中間評価を実施した。

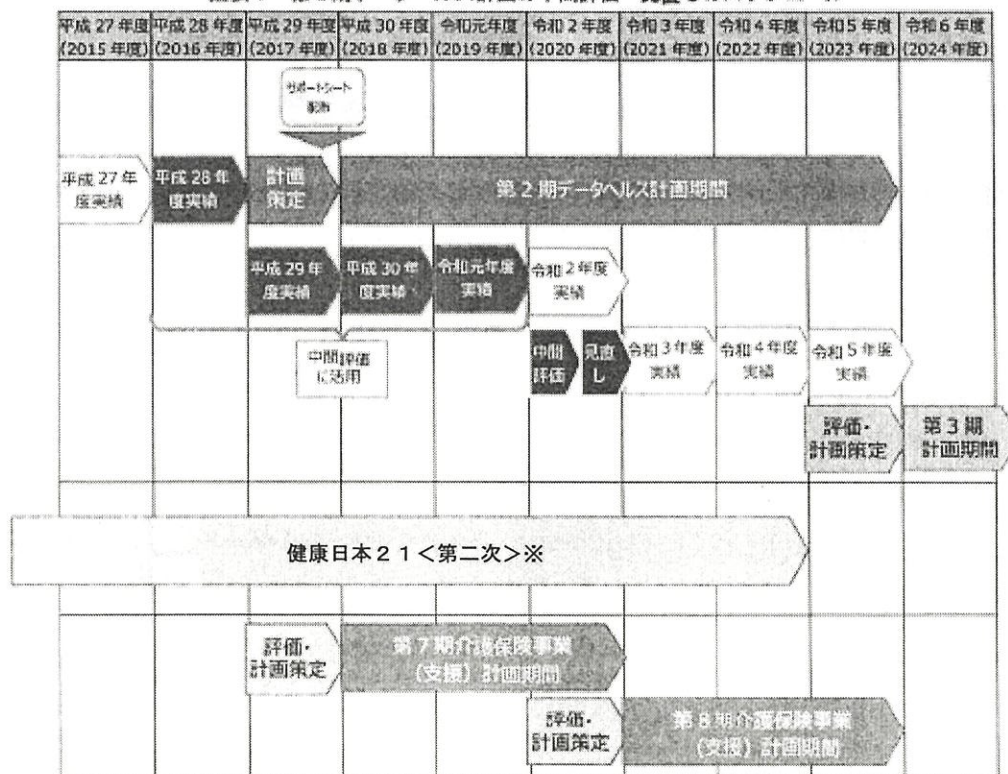
## 2. 中間評価の方法

中間評価は、「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業ガイドライン（令和2年度6月）」における第2期データヘルス計画中間評価の見直しの目的、留意点を参照した。

平成28年度を初期値として、平成29年度、平成30年度、令和元年度の実績値について令和2年度中間評価を行い、最終年度に向けた見直しを行う（図表1）。

ガイドラインに従い、4つの視点に基づく実績の自己評価について、外部有識者（国保運営協議会）による助言を頂く。

図表1 第2期データヘルス計画の中間評価・見直しのスケジュール



※健康日本21<第二次>をもとに都道府県や市町村が策定する健康増進計画は、それぞれの自治体の状況に応じて計画期間や時期が異なる。

### 3. 第2期データヘルス計画における目標・課題及び評価

#### (1) 中長期目標

##### 目標1

- ・健康寿命の延伸

##### 目標2

- ・脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症に係る医療費の伸びを抑える

#### (2) 短期目標

##### 目標3

- ・高血圧・脂質異常症・糖尿病・メタボリックシンドロームの減少

#### (3) 評価

- ・【第2期データヘルス計画等 目標管理一覧表を活用した評価・見直し】の整理表により、第2期データヘルス計画全体及び個別保健事業について評価を行う。

### 4. 今後の予定と最終評価について

- ①最終評価は、令和5年に、令和2年から令和4年の実績に基づき評価を行い、第3期データヘルス計画策定を進めていく。
- ②中間評価の見直しに伴い、最終目標値の検討、個別保健事業の検討を行った内容を着実に進めていく。

### 5. 参考資料

第2期データヘルス計画等

目標管理一覧表を活用した評価・見直し

※a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難

長野県国保連合会独自様式

関連計画	健康課題	達成すべき目的	評価指標	目標値R5年度	初期値	実績値				評価※	事業名	成功要因	未達要因	事業の方向性	評価後の目標値
				R5年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度							
特定健診等		・特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上により、特定保健指導対象者を減らす	特定健診受診率	60.0%	40.0%	38.7%	44.7%	48.1%	a	特定健診未受診者対策/特定保健指導未受診者対策	・健康診断未受診者に対して通知での勧奨が予定通り実施できた。 ・特定保健指導対象者全員に個別訪問を実施したことで、実施率の向上となった。 ・新規に運動教室を立ち上げたことで、特定保健指導実施率の向上に繋がった。	・新型コロナウイルス感染症の関係で春の健診日程がギリギリまで確定せず、健診履歴のない者への受診勧奨が出来なかった。 ・特定保健指導実施率については、目標値達成のため、特になし。	・電話による個別アプローチの実施（未受診の理由把握と受診勧奨） ・医療機関との連携（個別健診・みなし健診を検討）	60.0%	
			特定保健指導実施率	60.0%	10.2%	10.5%	40.0%	64.7%						60.0%	
			特定保健指導対象者の割合	8.9%	13.4%	11.3%	13.2%	13.4%						8.9%	
データヘルス計画	中長期	①特定健診の受診率が低く対象者の半数以上が未受診のため受診率の向上を図る	脳血管疾患医療費の生活習慣病に占める割合	0.8%	0.96%	0.71%	1.54%	0.29%	b	生活習慣病重症化予防対策	・中長期評価のため、今後経年的な数値をみて最終評価の際に評価する。	・今まで健康診断後のフォローをしていなかった。 ・中長期評価のため、今後経年的な数値をみて最終評価の際に評価する。	・個別訪問 ・減塩事業の実施（食事問診表や味噌汁の塩分測定、塩分チェックシートの活用、尿中ナトリウムの測定など） ・運動教室の新規立ち上げ ・病態別シンポジウムの開催（高血圧・脂質異常・糖尿病・腎機能） ・喫煙者への個別指導の実施	0.8%	
			虚血性心疾患医療費の生活習慣病に占める割合	1.0%	1.85%	1.51%	1.07%	0.73%						1.0%	
			慢性腎不全透析あり医療費の生活習慣病に占める割合	4.0%	5.42%	4.16%	5.20%	5.13%						4.0%	
			中長期・短期の目標疾患医療費の総医療費に占める割合	20.0%	23.17%	21.35%	20.77%	20.43%						20.0%	
	短期	②メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の増加傾向を抑制する	・脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症予防のため、高血圧、脂質異常、糖尿病、メタボリックシンドロームの該当者・予備軍を減らす	健診受診者の高血圧者（160/100以上）の割合	3.0%	6.3%	3.3%	2.9%	3.4%	c	受診勧奨判定値を超えている者への対策	・リストの作成を行い、受診勧奨を行った。 ・医療機関に受診していない方に対して、再度電話による受診勧奨を実施した。	・対象者全員へ介入ができなかった。 ・考えられる要因としては、マンパワー不足、コロナ禍による他事業へ対応。	・個別訪問 ・高血圧手帳と糖尿病連携手帳の活用 ・糖尿病重症化予防プログラムによる医療機関との連携 ・治療中断者には、訪問や電話にて受診の勧め必要に応じて医療機関との連携 ・健診未受診者に対して健診の受診勧奨を行う ・精密検査未受診者への勧奨（年度内に精密検査受診履歴の取り込みをし、未受診者へ連絡する） ・運動教室や栄養教室への参加を促す ・医療機関との連携 ・ポピュレーションアプローチとして広報で周知する	3.0%
				健診受診者の脂質異常者（LDL140以上）の割合	27.0%	30.9%	25.0%	28.2%	28.3%						27.0%
				健診受診者の糖尿病患者（HbA1c 6.5以上）の割合	6.0%	8.5%	3.6%	7.7%	7.9%						6.0%
				メタボリックシンドローム該当者割合 男性	20.0%	19.7%	19.4%	26.5%	27.9%						20.0%
				メタボリックシンドローム該当者割合 女性	7.0%	7.7%	5.2%	8.6%	8.1%						7.0%
				メタボリックシンドローム予備群割合 男性	13.0%	14.6%	16.0%	11.4%	14.0%						13.0%
メタボリックシンドローム予備群割合 女性	5.0%	4.8%	5.2%	5.1%	6.2%	5.0%									
保険者努力支援制度	予防・健康づくりの保険者機能強化	・がんの早期発見・早期治療	がん検診受診率（健康増進計画の目標値）						d	胃がん検診 肺がん検診 大腸がん検診 子宮がん検診 乳がん検診	・同日に受診できる検診項目が多いほうが受診しやすいという意見もあったことから、乳がん検診日に骨密度検診を同日実施した。	・人口規模が小さいため、数名の受診で割合が変わる。そのため評価が難しい。 ・健康増進事業計画 がん検診受診率（長野県がん検診実施状況調査より）H30年度の報告は、会議が未開催のため、開示できる資料がなく中間評価時には実績値不明と記載した。	・保険者努力支援制度の評価指標のため、受診率については、今後も継続して確認する必要がある。 ・達成すべき目的が「がんの早期発見・早期治療」であることから、今後は上記受診率に合わせ、精密検査受診率・がん発見率についても確認していく。	8%	
			胃がん検診	8.0%	7.1%	6.3%	-	-						18%	
			肺がん検診	18.0%	17.2%	16.9%	-	-						20%	
			大腸がん検診	20.0%	18.2%	17.4%	-	-						10%	
			子宮がん検診	10.0%	7.4%	8.2%	-	-						22%	
			乳がん検診	22.0%	21.9%	21.8%	-	-							
データヘルス計画全体の目標	健康寿命の延伸	平均自立期間（KDB）男性	79.0	79.3	80.6	79.6	78.5	d	-	・新規事業として重症化予防事業に取り組み、予防可能な疾患を予防していく。	・長期目標のため評価が難しい。今後も継続した重症化予防、早期の受診・継続治療の支援をする。	今後の方向性	79.0%		
		'' 女性	84.9	84.2	84.4	84.3	84.7						84.9%		
	医療費適正化	1人当たり医療費（円）	伸び率抑制	26,954	28,296	30,570	29,532	d	-	・毎年度末に確認をするが、評価は最終年度とする。	・医療発展により医療費を抑えることは難しいため伸び率を確認する。	伸び率抑制			